KONICA MINOLTA

三脚セット RA-121 ／ 三脚用雲台セット RA-151 取扱説明書

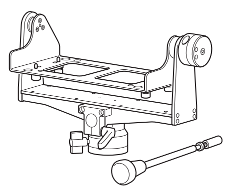
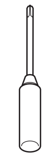
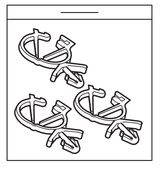
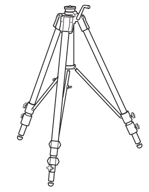
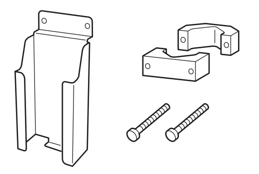
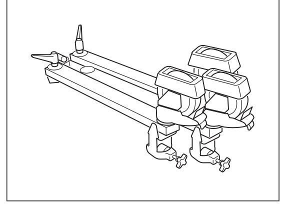
三脚セット RA-121 は、非接触 3 次元デジタイザ RANGE7 の三脚セットです。
三脚用雲台セット RA-151 は、既存の三脚に三脚用雲台を取り付けるためのセットです。
RANGE7 を取り付けて使用することができます。

⚠ 組み立て作業上の注意

- 構成部品には、重量があるものが含まれています。 指はさみや落下による足先のケガに注意してください。
- 無理な体勢での作業とならないようご注意ください。
- 作業は十分に広いスペースで行ってください。部品を壁に立てかけたりすると転倒する恐れがあります。

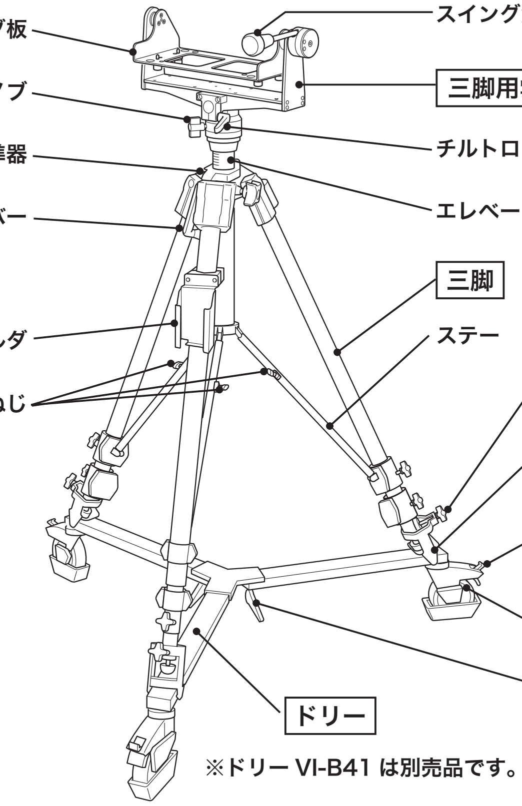
本機の構成

三脚セット RA-121 は、三脚用雲台セットと三脚で構成されています。
それぞれ別の箱で供給されますので、使用前にこれらを組み立てる必要があります。なお、別売品のドリー VI-B41 と組み合わせて使用することもできます。

三脚セット　RA-121					別売品
三脚用雲台セット　RA-151			三脚	AC アダプタホルダ	ドリー　VI-B41
三脚用雲台	組立用工具	ケーブルクランプセット			
					

各部の名称（組立完成図）

※ ドリーを併用する例を記載していますが、ドリー VI-B41 は別売品です。

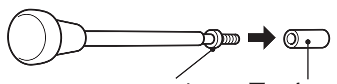


※ドリー VI-B41 は別売品です。

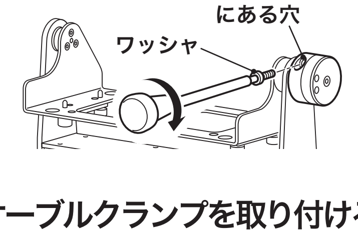
三脚用雲台セットの組み立て

スイング角度調整レバーを取り付ける

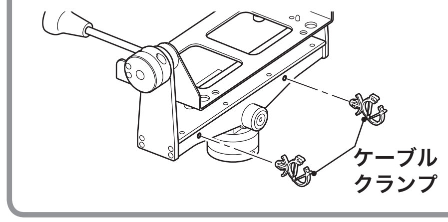
① ワッシャが脱落しないようにして黒いキャップをはずす。



② 三脚用雲台のスイング板支柱部にある穴に差し込み、時計方向にねじ込む。



ケーブルクランプを取り付ける



ご使用方法

ご使用の前に［必ずお読みください］

⚠ 注意

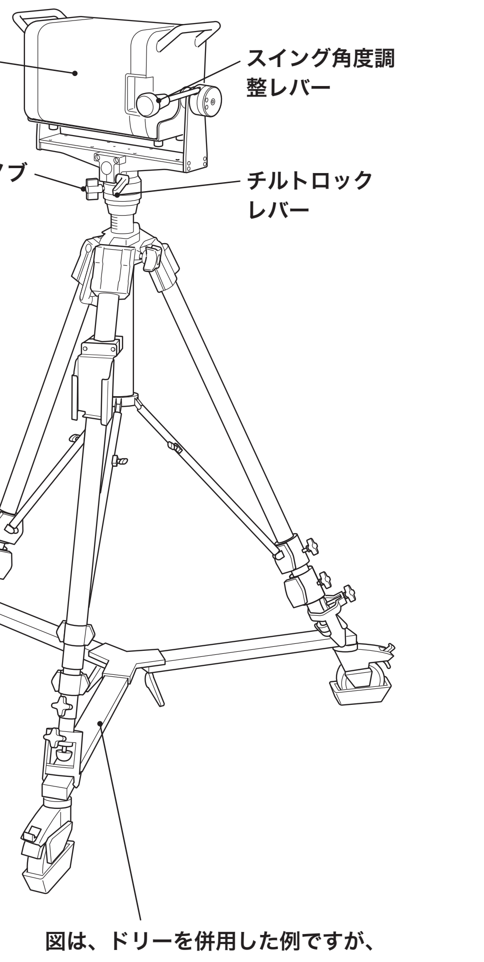
- ご使用前に、各結合部が緩んでいないかをご確認ください。緩みを生じている場合は、増し締めをして固定してください。
- 部品に亀裂や大きな曲がりなどを生じている等、具合の悪い部分がある場合は、そのまま使用せずに、「サービスのご案内」に記載のお問い合わせ窓口にご相談ください。
- 水平で平らな堅い床面上でご使用ください。床面が歪んでいる場所や傾いている場所では、不安定になることがあります。
- 三脚を移動する場合は、必ず RANGE7 本体を取り外してから行ってください。RANGE7 本体を取り付けたまま移動すると、転倒して、ケガや機器破損の原因となります。
- 三脚や雲台に寄りかかったりもたれたりしないでください。
- 可動部の動作が悪いなど異常を生じたときは、「サービスのご案内」に記載のお問い合わせ窓口にご相談ください。
- 本機部品を紛失または破損したときは、市販品で代用せず、「サービスのご案内」に記載のお問い合わせ窓口にご相談ください。市販品を代用すると、強度不足等により、本機が破損したり、ケガをする危険があります。

RANGE7 の姿勢を変える［三脚用雲台の操作方法］

雲台は水平方向、縦方向、あおり方向の調整ができます。それぞれのレバーを操作して RANGE7 の姿勢を変えてください。

注記

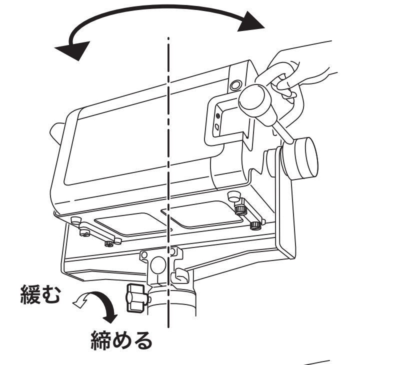
- 周囲に人や物が当たらないことを確認して姿勢をかえてください。
- パンロックノブ、チルトロックレバー、スイング角度調整レバーは強く締めすぎると破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- 三脚用雲台のチルト部には指を入れないでください。指を挟んでケガをする危険があります。
- チルト方向に RANGE7 の姿勢を変えるときは、パンおよびスイングをロックしてください。また、パンおよびスイング方向に姿勢を変えるときは、パンをロックしてください。



図は、ドリーを併用した例ですが、ドリー VI-B41 は別売品です。

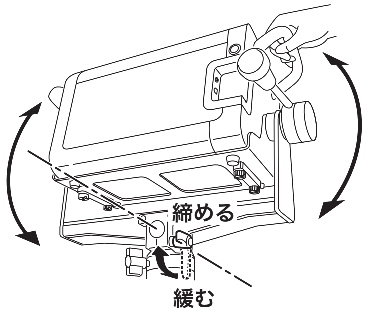
パンロックノブ（水平方向）

パンロックのノブを緩めると、水平方向に調整ができます。



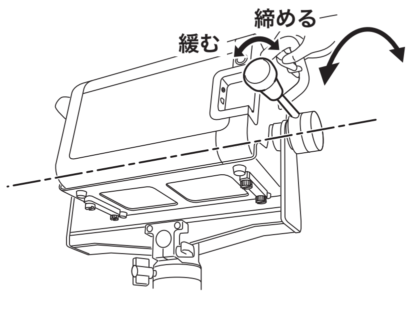
チルトロックレバー（縦方向）

チルトロックレバーを緩めると、縦方向に調整ができます。



スイング角度調整レバー（あおり方向の調整）

スイング角度調整レバーを緩めると、あおり方向の調整ができます。



組み立て方法

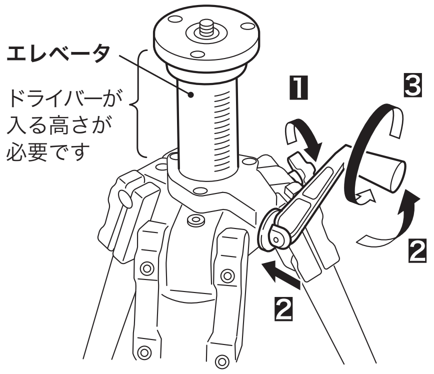
1. 三脚を広げる

① 脚を伸ばさない状態で適度な幅に三脚を広げます。
- 三脚固定ねじ3箇所で三脚の脚を固定します。

2. エレベータを上昇させる

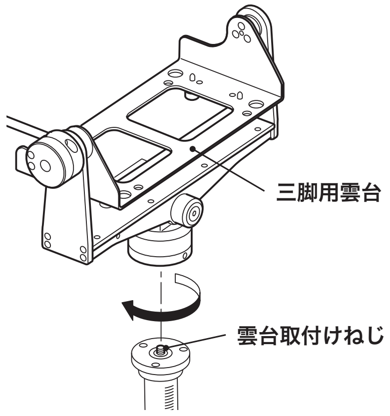
① 下方から三脚用雲台を取り付けるための㊀ドライバーが入るスペース分の高さまでエレベータを上昇させます。

(手順)
1. エレベータ固定ねじをゆるめる。
2. ロック部を押し込んでエレベータ昇降レバーを起こす。
3. エレベータ昇降レバーを時計方向に回すと下降します。反時計方向に回すと上昇します。

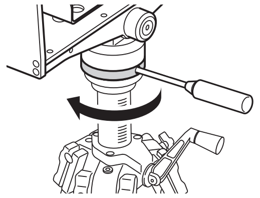


3. 三脚用雲台を取り付ける

① 三脚用雲台を両手で持って、三脚の雲台取付けねじにまっすぐあてがい、時計方向に回して取り付けます。



② 雲台底面部の穴に組立工具のドライバの先を差し込み、時計方向に回して増し締めをします。

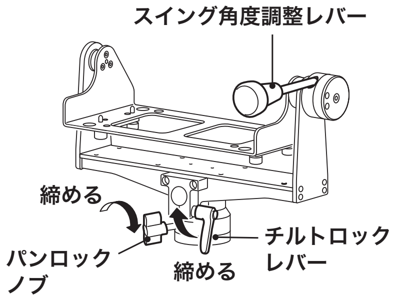


③ 作業終了後は、エレベータ昇降レバーを回し、三脚用雲台を適度な高さに調整してください。

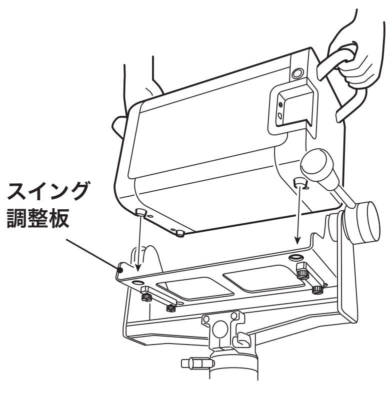
4. 三脚用雲台に RANGE7 を取り付ける

注記
- 三脚が安定した状態に広げられ、各部の固定レバーがしっかりと締められていることを確認してください。
- 安定した床の上で作業してください。

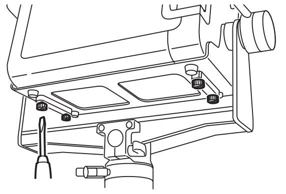
① 三脚セットに取り付けた三脚用雲台のスイング板を水平にし固定します。
※チルトロックレバー、パンロックノブが締まっていることを確認してください。



② 両手でハンドルを持ち RANGE7 をスイング板に載せます。
- RANGE7 底面の4個のゴム足のうち背面側の2個が、スイング板上の位置決め穴に確実にはまるように置いてください。



③ スイング板の裏面に付いている4本のねじを、RANGE7 底面の雲台取付ねじ穴に差し込み、時計回りに回して確実に締めてください。



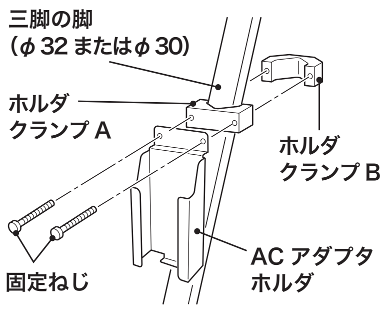
注記
- 取り外しの際は、取付手順と逆の手順で行ってください。
- スイング板底面の固定ねじは、通常脱落しないように設計されていますが、RANGE7 を取り外せる位置から更に力いっぱい回すと外れることがありますのでご注意ください。

5. AC アダプタホルダの取り付け

注記
- 三脚の脚をのばしたり、縮めたりして操作する場合がありますので、三脚のどの位置につけたらコードの取回しがよいかよく検討されて、取り付け位置を決めてください。

① AC アダプタホルダとホルダクランプ A を合わせて固定ねじ 2 本を通します。

② 三脚の脚に AC アダプタホルダとホルダクランプ A を当て、ホルダクランプ B でねじをうけて軽くしめます。
※ このとき片方のねじばかり締めずに交互に少しずつしめてねじが均等にしまるようにしてください。



6. 組み立て完了(測定前の最終確認)

- 三脚、雲台等各部の取り付けにゆるみやガタがないか、再確認してください。ゆるみやガタがある場合は、再度しっかりと締め付けてください。
- 前傾姿勢にしても不安定にならないか、確認してください。不安定になりそうな場合は、脚の幅を広げてください。

メモ
- ケーブル類の取り回しについては、RANGE7 本体の取扱説明書をお読みください。

別売品 ドリー VI-B41 を使用する場合

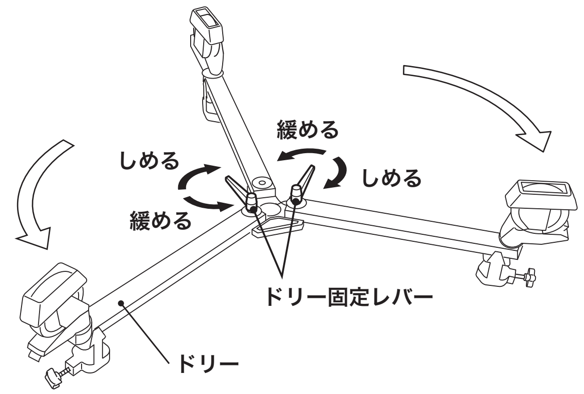
⚠ 使用上の注意

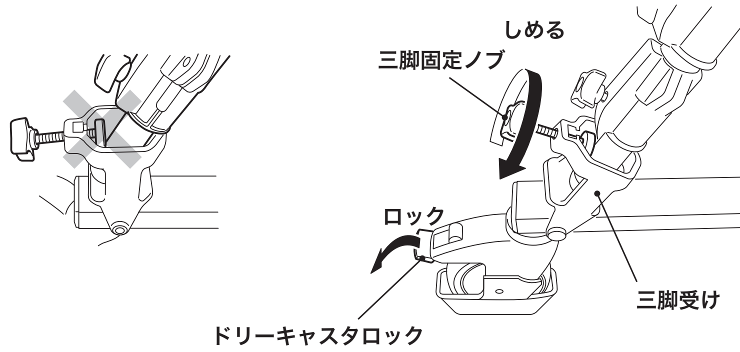
- 測定中は、三脚の不用意な移動を避けるために、ドリーキャスタロックを掛けて使用してください。
- ドリーに足をかけたり、上に乗ったりしないでください。転倒やケガ、破損の危険があります。
- ドリー使用中に移動する場合は、ドリーキャスタロックを解除してゆっくりと移動してください。急激な移動は、段差や障害物などにキャスタが引っ掛かり、転倒するおそれがあります。
- 毛足の長いカーペット上などでは、キャスタの動きが悪くなることがあります。

1. ドリーの組み立て

① ドリーを図のように置き、可動脚の2つのドリー固定レバーを反時計方向に回して適度に緩めます。
- 緩めすぎると、ドリー固定レバーが外れて脱落しますのでご注意ください。

② ドリー固定レバーのついている可動脚 2 本を図のように広げて固定します。
- 広げた可動脚 2 本がガイド溝にしっかりはまっていることを確認し、ドリー固定レバーを時計方向に回して固定してください。
- キャスタが接地するように、ドリーを裏返してください。



2. ドリーに三脚をのせる

① ドリーの3箇所の三脚受けに、三脚の 3 本の脚をそれぞれはめて固定します。
- ドリーキャスタロックを掛けて作業を行ってください。
- 三脚固定ノブを緩め、三脚の脚(3 箇所)が三脚受けに入る状態にしてから、三脚の脚 3 本をはめてください。
- 三脚の脚と三脚固定ノブは垂直の位置関係になるように調整してから、三脚固定ノブで固定してください。